

11月14日(金)から16日にかけて  
州南西地方のカナネア島に、県人会  
親睦旅行に43名が参加した。  
初めて同地方を訪れる会員たちが多  
く、小さな町であるが遊覧船で「イルカ」  
の群れを見たり、魚介類を沢山食べて  
皆さん満足の評であった。



## 会員親睦ゆったいカナネアの旅 県人会家族団楽 新鮮な空気・魚介類も満喫

一行を乗せた大型バスは深夜0時発で、一路BR116号線を南下。  
山あいの2車線化 (Duplicação) 工事中のため渋滞に巻き込まれたが、  
ミラカツで休憩。目的地カナネア (270 キロ) の日系人経営の海浜ホ  
テル・コッケイロに着いたのは早朝6時半頃であった。

この地方は3つの島、カナネア島 (Cananéia, 人口 12.000 余、湾  
の奥)、コンプリーダ島 (イグアツベから続く Ilha Comprida, 外洋に面す  
る)、カルドゾ島 (Ilha Cardoso, 外洋に面する州指定公園) がある。



ホテルで朝食後、小雨の中  
遊覧船での湾巡りではイルカ  
(Golfinho) を追った。イルカの  
いそうな海域で速度を緩め、案  
ない人が海面を指差す方向に、待  
望のイルカが背ビレを出した途  
端、一行から大きな歓声が上

がった。群れを追いながら周  
遊。残念ながら大きく飛び上る  
光景は見られなかったが、そ  
れでも皆さん満足したようであ  
る。上空では魚を追う海鳥が  
付きまどっていた。



遊覧後、魚屋街では海域で獲れるスズキやボラ、エビ、フカ、小柄  
なカキなど並んでいた。早速、新鮮なカキをビールのつまみに美味し  
うみさちを頂いた。

ホテルで朝食後フェリーでイーリャコンプリーダへ。浜辺まで3キロも  
ありバスを利用した。若い人達は早速海水浴にと波間に・・・

この浜は遠浅で小さなお子さんでも戯れる事が出来る。多くのプラは



なる人  
たちや  
家族は、  
流行の  
音楽に  
のり健康  
踊り。若  
い邦字

記者2人 (小倉・倉茂) は仲間に入り楽しく踊ったようである。

浜辺で楽しみフェリーでカナネアへ。筆者と倉茂記者 (サ紙) は一  
時釣りに興じる。釣りが初めての倉茂さんは最初にタイの仲間カラペーバ  
を釣上げ、スズキ (大きさは想像して) が次々と  
かかり暗くなるまでに約20匹釣上げた。



最終日の16日は各自自由で、釣り、魚を買う  
人、町の散策とそれぞれが時間を過ごした。昼食後の2時過ぎ帰路  
へサンパウロ着は午後8時過ぎだった。

【カナネア】は、1531年ポルトガル人率いる遠征隊が上陸し、町

が形成され港  
町として最古に  
属する。近年  
は観光地として  
カキ養殖が盛  
んで、多くの釣  
り人も訪れる港  
町である。



食事時の団らんは家族のよう

りょうりこうしゅうかい  
**料理講習会** Curso de Culinária

10月19日  
(日) 午前10時

から、フンダツソ  
ン・パウロ小林の支援  
で、サクラ醤油  
の料理講師(北村  
ひろし クラウジ  
オ氏)が出前出張  
した講習会に30名程が参加した。



甘酢あんかけは、サクラ社のソースを使用して、誰にでも調理出来る一品で、トンカツはファリンニャ デ フオスカではなく、日本式にパン粉を使い、且ソースも純トンカツ用の本格品、そして若干焦げかけた(フォルノから出す際の

講習品目は、①豆腐の甘酢あんかけ、②トンカツ、③生姜・リンゴ・蜂蜜を使ったケーキの3品。日本製の超高級包丁で、ピーマンやリンゴを鮮やかに切っていく様は、見事のこと言。豆腐の



タイミングが、ちょっと遅かったみたいで・・・)かのようなケーキはブラジル式の所謂ボーロであった。男性も何人か見られた参加者達は、講師の軽妙な話術に笑いを誘われ乍も、調理を進める手つきに見入っていた。いよいよお待ちかねの試食会。ひと品毎に「ゴストゾ!!」の歓声。気になったケーキも焦げておらず、「ゴストゾ!!」楽しい料理講習会であったが、日系人以外のブラジル人にも、もっと多く参加して頂れば、より和食の普及に繋がるのでは、という思いも過った。

**ブラジル岩手県人会**

**ふるさと岩手だより ①**

提供 岩手日報 2014年10月発行

FURUSATO IWATE DAYORI

2014年9月11日は、東日本大震災から3年半。犠牲者は6月現在15,889人/行方不明2,609人。各被災地では様々な問題と戦いながら着々と復興への道を歩んでいる。が、様々な問題で復興が遅れている。特に福島は原発事故処理問題で、住民や町が他の地で避難し行政が行われている。本当に気の毒だ・・・ そのような中、時間が経つと共に大震災そのものが忘れられようとしている。風化させてはならないと願いつつ・・・

去る8月20日記録的な大雨による広島市の土砂災害は72名の犠牲者があった、広島県人会では義捐金で母県を支援しようと、一般に広く呼びかけている。当会では9月1日ピンゴの売上金から早速皆さんの善意を広島県人会へ届けたいことを報告します。

Passados 3 anos e meio do Higashi NihonDaishinsai (Tsunami), que deixou 15889 mortos e 2609 desaparecidos, algumas regiões ainda não foram totalmente reconstruídas devido a intermináveis discussões entre os desabrigados e o governo. Estamos torcendo para que a solução dos problemas não demore, pois o tempo tende a nos fazer esquecer. No dia 20 de Agosto, fortes chuvas provocaram deslizamentos na cidade de Hiroshima, fazendo 72 vítimas fatais. O Hiroshima Kenjinkai ou primeiro a fazer a doação. O dinheiro foi arrecadado no Bingo realizado na confraternização entressociedade no dia 31/08.

**被災地を歩く**

(期待高まる本設店舗・山田町中心部)

仮設商店街の営みが続く山田町中心部。JR山田線陸中山山駅(休止中)周辺は新たな市街地形成に向けた土木工事が本格化し、工事車両が行き交う。単独の仮設店舗を構える居酒屋や事業所も増え、再生に向かう力を感じさせる。

役場近くの八幡通り商店街に向かうと、2坪ほどのプレハブが目に入った。中をのぞくと子どものころから変わらない定番の駄菓子店がぎっしり。昨年4月に滝沢市のグループが被災地支援としてオープンさせた。

店番をする甲斐谷ミヤ子さん(78)は「仮設住宅にいますり断然いい。大人も懐かしくなってきた」と笑顔を見せる。壁には子どもたちの落書き。かさ上げ工事に伴い移転が予定されているが、多くの人に愛される場所になっている。



14日は約30店舗が参加した「100円商店街」の開催日。各店お薦めの100円商品を出し、新規顧客を開拓しようと企画した。昨年12月の初回に比べて今回は少なかったというが、活性化を図ろうとする意気込みが感じられた。本設の商店街は陸中山山駅周辺と国道45号沿いに計画。駅周辺は2・3ヘクタールを事業区域とする津波復興拠点整備事業を導入し、共同店舗と個別店舗を合わせて約30業者が出店を予定

この記事は、会員皆様へ母県ふるさとのニュースをお伝えたいと、岩手の新聞「岩手日報」より、許可を得て掲載しております。

県内各市町村のニュースを掲載したいのは、山々ですが紙面の都合上全域を掲載出来ません。あしからず

東日本大震災から3年余 被災地は今・・・  
東日本大震災から3年3カ月が過ぎた。被災地は何か変わり、何が変わっていないのか。本紙記者が震災直後に取材した現場を再訪する「被災地を歩く」。前回ルポから1年2カ月。4度目の再訪で見てきた被災地の「今」を伝える。  
Área próxima da Estação de trem de Yamada, passados 3 anos e 3 meses do Higashi NihonDaishinsai (Tsunami) pouca evolução na reconstrução.



れ、書店経営にとって制約は大きい。「仮設住宅から買い物に来てもらうのは難しいと感じている。住宅再建が進み、自分の足で歩いて買い物ができるようになってほしい」と願う。

一方、国道45号沿いの商店街は土地区画整理事業区域内にあり、新生やまだ商店街協同組合(昆尚人理事長)の9業者程度が出店を計画。交通量の多さや隣接するスーパーとの相乗効果を狙う。用地交渉の遅れから本設店舗の営業は15年夏以降になる見込みだ。

事業区域は災害危険区域にあり、かさ上げは予定されていない。非常時の避難態勢や駅周辺商店街との連携が焦点になる。写真店を経営する理事長(39)は「本設店舗ができることで、町民にも復興が進んでいることを実感してもらえたらと思う」と気持ちを奮い立たせる。

震災から3年3カ月余り、店主は市街地にぎわい復活を目指し、たくましく営業を続けている。支え合い、前を向く力に変わりはない。復興事業の遅れが懸念される中、まちの魅力

を創出する店主の思いを聞いてみたい。(宮古支局・八重樫和孝) 山田町の商工業者の状況 町商工会には408会員(6月1日現在)

【写真④】=役場屋上から市街地中心部を望む。仮設店舗が営業を続ける中、土木工事本格化してきた=16日、山田町八幡町

【写真左段⑤】=八幡通り商店街の100円商店街。にぎわい創出に一役買った=14日、山田町八幡町

【写真左段⑥】=震災直後に大規模火災に見舞われた山田町中心部=2011年3月12日午前4時40分

【写真右段⑦】=震災直後に大規模火災に見舞われた山田町中心部=2011年3月12日午前4時40分

(YAMADA) Pessoas se aglomeram para comprar doces tradicionais, nas lojinhas. Provisórias (temporárias) na HachimanDoori, rua que fica próxima da Prefeitura da cidade.

**『ふるさと岩手だより ①』**

**ねんがん ほんごう  
念願の発行**

かいじんみなさま きょうり とお はな なんべい いじゅうらい いくじゅう  
会員皆様には郷里を遠く離れ南米へ移住以来、幾十年の歳月が過ぎ去ったことと思います。

けんじんかい ひごろ ねんがん いわて ほんごう  
県人会では日頃からの念願でありました、ふるさと岩手のニュースを伝える「ふるさと岩手だより」①を発行し、既に発送させて頂きました。皆様方には岩手のニュースに接する機会が少ないことと思い、県出身者やご家族の皆様方に少しでも祖父父母の古里のニュース、2011年の東日本大震災の復興状況や被災地住民の活力をお伝え頂ければと願っております。

「岩手日報社」より、記事や写真の著作権などの了解を頂き、故郷のニュースをそのまま掲載いたしております。

その為、振り仮名は省略させて頂いております。

「会員と南米の県人会にのみ配布するのであれば、公益のためになると判断し許可します。書類は私が代筆しますので、よろしく願います。このような会報を定期的に発行して頂ければ、東日本大震災の風化の防止に繋がりますし、母県を思い出すよい機会になると思います。との岩手日報社編集局次長兼報道部長 菅原ともひろ 智広さんよりの、コメントを受けました。

右「ふるさと岩手だより」① 日誌社では11月28日付で社内報で紹介する予定です。

- 8月23日 援護協会傘下の自閉症青空学級（PIPA）設立10周年発表会（三枝たか子さん指導）に会長夫妻出席。
- 24 宮崎県人会創立65周年・県人移住100周年式典に会長夫妻、青森県人会60周年記念式典に多田エミリア、藤村美恵姉妹出席
- 27 坂上美奈子さん、龍彦さん姉弟（青森県在）が来館され、ブルーレイ再生機と録画集多数の寄贈あり
- 31 第55回会員交流誕生会開催
- 9月1日 先の広島市土砂災害義捐金としてビンゴの売上金を広島県人会に届ける
- 3 宮順子国際交流協会より県人会賛助会費送金の知らせ 国内外へ県人会報186号を約400部発送
- 4 総領事公邸で菊地義治（援協）、木田喜八郎（文協）、和田忠義（アルモニア教育文協）ら3氏へ外務大臣賞が福岡教輝総領事から伝達される。千田会長表彰式に出席
- 8,9 旅行案内、役員会案内状を発信
- 10 県連役員会に会長出席
- 15 南部せんべい本舗巖手屋の小松勉社長夫妻、東北自動車学校 佐々木裕子社長に盛岡市在住婦人来館。モロロジー100周年式典ツアーで来伯（写・左）
- 20 定例役員会開催
- 23 田鎖満さんが日本の姪や甥3名（安藤彰彦・幸恵夫妻、東峰瑞穂さん）と来館（写・右）
- 25 県連代表者に平野稔氏代理出席
- 27 交歓留学生の今野さくらさん（金ヶ崎出身）、と親川ピートルけんさん（沖縄県・メキシコ生まれ）が来館



20 定例役員会開催  
23 田鎖満さんが日本の姪や甥3名（安藤彰彦・幸恵夫妻、東峰瑞穂さん）と来館（写・右）

- 10月1日 平成26年度補助金契約書を県庁へ発送
- 5 全国統一選挙あり。大統領、州知事一部は26日の決戦投票にもつれ込む（日系連邦議員はサンパウロ州2名、パラナ州2名、州議員サンパウロ2名、パラナ1名、補欠の繰上げ当選も可能）
- 9 吉田恭子さん、渡辺勉氏より近況のメール受信
- 11 定例役員会開催 議題は、料理講習会、親睦旅行、忘年会・誕生会、定期総会・新年会2015、1月から9月までの会計状況
- 12 福井県人移住100周年・県人会創立60周年記念式典に会長夫妻出席。副知事、議長など一行19名の慶祝団を迎えた。
- 15 岩手日報ニュース「ふるさと岩手だより①」を、会員や南米県人会に発送。
- 19 本日よりブラジルは夏時間（州により最大3時間ずれもある）
- ☆ 北海道人移住95周年・協会創立75周年式典に会長夫妻出席。慶祝団は副知事など17名が参加
- ☆ 料理講習会県人会で行われ約30名参加
- 22-23 日付けでニッケイ新聞、サンパウロ新聞に会報「ふるさとだより」発行について掲載あり
- 29-30 県連役員会、代表者会に会長出席
- 11月2日 ブラジルのお盆
- 9 長野県人会創立55周年式典に会長出席。阿部守一県知事は岩手県に出向した事も。慶祝は県庁6名。町村会3名であった
- 11 公益法人オイスカの渡辺正（長野）副総裁が挨拶に来館
- 12 山中正ニベレン県人会会長来館
- 14.15.16 会員親睦カナネイア旅行に43名参加
- 19 岩手日報社の鈴木さんから「ふるさとだより」について、社内報（28日）発行のため県人会のコメント依頼あり
- 26 三枝夫妻のお別れ会を有志で行う
- 27 県連代表者に会長出席

**会費納入者名**（敬称略・Anuidade Pagantes）

8月 高橋清（Kiyoshi Takahashi 2013,14）、岡田しげみテレーザ（Tereza Shigemi Okada）、黒澤フジ（Fuji Kurosawa）、尾崎眞次（Shinji Ozaki）、上滝重雄（Shigeo Kotaki）、安武俊樹（Toshiki Yasutake）、田口精基（Seiki Taguchi）、山口しのぶセシリア（2013/14 Cecilia Shinobu Yamaguchi）、

9月 吉田光雄（Mitsuo Yoshida）、大泉後藤美智子（Michiko Goto Oizumi）、村松弘一（2013/14 Koiti Muramatsu）、高橋エイコ（Eiko Takahashi）、清水ルジア（Luzia Shimizu）、菅原正芳（Masayoshi Sugahara）、中村洋子（Yoko Nakamura 2013 e 14）、久保時男（Tokio Kubo 2013 e 14）、菊地義穂（Yoshio Kikuchi 2013 e 14）、亀ヶ沢アメリア（Amelia Kamegasawa）。10月 岡田こう（Kou Okada 2013）、平野富雄（Tomio Hirano）、猫塚司（Mori Nekozuka）、清水宮路（Miyaji Shimizu）、11月 児玉剛一マウロ（Mauro Goiti Kodama）、飯塚のりこ（Noriko Iizuka）、崎田信行アフォンソ（Afonso Nobuyuki Sakita、2013/14）11月18日まで até 18/11/2014

**寄付・寄贈**（Doação 敬称略）

R\$ 300.00 武田正夫、100ドル 小松勉 社長（二戸市 巖手屋 南部せんべい）、R\$ 100.00 三枝守・たか子夫妻、R\$ 30.00 門脇和夫・DVD 2枚 笑顔がつなぐたハーモニー（陸前高田市中学生バンドと八代あき）阿部義光アクリマソン・ロータリー R\$ 1000.00 三枝守・たか子夫妻、お茶菓子 来館者多数、

**岩手県人会図書室蔵書数** 25,320冊（10月6日現在）  
**図書利用数** 8月 507冊 - 117名、  
9月 464冊 - 108名、10月 535冊 - 126名、  
**県人会来訪者数** 8月 385名、9月 432名、10月 421名、

**十 逝去**（Nota de Farcimento）

**高橋 啓一さん**（Keiichi Takahashi、行年102才・稗貫郡太田出身、昭和8年渡伯）は、7月18日逝去と娘さんから連絡あり。

**千田 まささん**（Masa Chida、行年95才・金ヶ崎町出身・1957年渡伯、初代、3代目県人会事務局長安治の妻、県人会婦人部長歴任、千田県人会長の母）は、9月25日逝去されました。

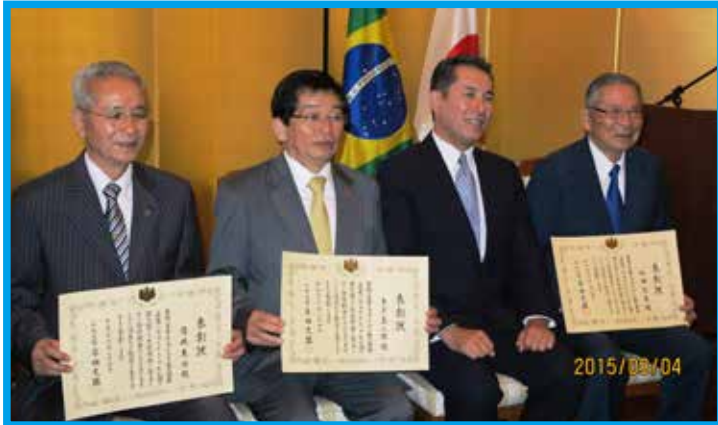
**高山（旧姓小原）フジさん**（Fuji Takayama、行年85才、1935年6歳で金ヶ崎町から家族で渡伯）は、10月23日逝去と家族から知らせ。

**高橋 祐幸さん**（Yukou Takahashi、行年81才、岩手町沼宮内出身、1960年渡伯）は、11月3日 A・C・CAMARGO 癌病院で逝去されたと報を受ける。

亡くなられた方々のご冥福を心からご祈念もうしあげます。

# 菊地さんに

## 外務大臣賞



9月4日、サンパウロ総領事公邸で、平成26年度外務大臣賞授賞式が行われ、菊地義治さん（74歳、サンパウロ日伯援護協会長、いちのせきしさんのせきしゆしん、一ノ関市三ノ関出身）、木田喜八郎さん（サンパウロ日本文化福祉協会会長、二世）、和田忠義さん（アルモニア教育文化協会会長、二世）に福嶋教輝総領事から外務大臣賞が伝達された。

菊地さんはサンパウロ日伯援護協会において、理事、副会長を歴

任、2011年会長に就任。現在に至る。同会に於いて、日伯友好病院運営委員長などの要職を歴任。自閉症児療養施設P IPAの創設、サンミゲル・アルカンジョ病院の新規建設、開所等を推進、ブラジル在在の邦人及び日系人の福祉と医療の向上に尽力。

2012年には第40回医療功労賞、並びに厚生労働大臣表彰を受賞。2014年3月サンパウロ市民章受賞。

ブラジル岩手県人会長（1990-1998年の4期）、日本都道府県人会副会長、各日系団体の要職など歴任、日伯交流事業はじめ数多くの重要なプロジェクトを成功に導いた。

菊地さんは1959年19歳で「南米開発青年隊員」として、パラナ州ウラジーナ訓練所に入所。サンパウロ移転後は家具・衣料店を経て、フランチャーズチェーン（主に中華料理）店経営、現在に至る。

菊地さんは今回の受賞を、ブラジル社会、在日系人、団体、友人や家族に支えられたお陰です。今後も諸活動を通して精進したいと喜びを語った。菊地さんおめでとうございます。会員一同から。



# 青森県の坂上さん姉弟から

## ブルーレイプレイヤーと録画集



4月末、青森県十和田市在住の坂上美奈子さんより、8月25日から3週間ほどブラジルに行く予定で、高校時代

三戸郡でお世話になった。岩手県出身の「高橋幸太郎」さんが県人会に属していないかと尋ね人の依頼があった。

県人調書を調べたが氏名が無く、邦字紙に尋ね人として依頼し会報にも掲載した。俳句会から同名の情報があつたが、阿部正司会員から昔マツグロソ州の中島農場で支配人であったとの情報を元に、伊東信比古さん（大分県出身）が同農場経営者の知人であった事から聞いたところ、高橋さんは同農場から独立し100アルケールの農場を営み、奥さんはある日系政治家の姪。高橋さんは交通事故で10年以上前に亡くなったとのこと。

これらの情報を坂上さんに報告。高橋さんの逝去を残念がっていた。弟の龍彦さんは80年代にサンパウロの進出企業で5年ほど勤務経験があり、度々ブラジルを訪問。今回5回目の訪問にあたり、姉の美奈子さんを初めて誘ったとのこと。

これも何かの「縁」と、同地方でも見れる岩手のテレビ番組を録画して持参しようと思う。ついてはプレイヤーはありますかとの問いがあり、まだ一般には出回っていないが返信。じゃ序にプレイヤーも持参すると返事。

8月24日に当地の青森県人会が創立式典を予定しており、ご案内しますと連絡。お祝いに1台プレイヤーを追加し青森県人会に持参すると返答あり。予定通り25日来伯したお二人は、28日午前坂上さん姉弟が来館。早速ブルーレイプレイヤーと録画集（ブルーレイディスク）の寄贈を受け、使用方法など龍彦さんから指導を受けた。大型画面に繊細な映像が映しだされ性能の違いを感じた。ご姉弟に貴重な機器や録画集を賜り心から感謝申し上げます。

8月31日55回目の誕生会で会員皆さんに綺麗な映像を観賞頂いた。

お二人はリオ、イグアスの滝などを訪れ9月13日帰国。礼状もあった



たの だ い か い か い い ん こ う り ゆ う た ん じ ゃ う か い  
**楽しく・第55回会員交流誕生会**

**CONFRATERNIZAÇÃO**



8月31日(日曜日)正午から第55回目の会員交流誕生会が行われ、約50名が集い楽しい一日を過ごした。

まず多田マウロ副会長が開会宣言。千田会長は県人会の流れや各種報告を行い、久しぶりの集会を楽しく過ごして頂きたいと挨拶。



菊池達郎相談役の音頭で会員持寄り料理で食事が始まった。

当日は8月28日に青森県の坂上美奈子さん、龍彦さんから寄贈された、ブルーレイ録画集とプレイヤーで岩手県のニュース番組や、歌謡ショーなど綺麗な画面を観賞頂いた。

食事後は、8月20日広島市で74名の犠牲者を出した土砂災害の被害者に、広島県人会からの要請で義捐金カンパのビンゴを行った。おかげで賞品代を差し引いたR \$350.00を、9月1日に広島県人会にお届けしたことをこの場で報告します。

続いて5月から8月生まれの誕生会では、パラベンスを皆さんで歌い祝福しケーキで誕生者の壮健を分かちあった。

午後4時頃「北国の春」を合唱し閉会。のど自慢者はカラオケを夕刻まで楽しんだ一日でした。



**いわて きゃく 岩手からお客さん**

**こまつ 小松さんたちと たくざり 田鎖さんの親戚・今野さんら**

ぬくもりの経営方針が、せんべい業界ではトップを独走。日本で一番大切にしたい会社選ばれている。

9月23日 田鎖満さん(北上市藤根出身、1963年渡伯)が、日本の姪や甥3名(安藤彰彦・幸恵夫妻、東峰瑞穂さん)と来館され懇談。今後は田鎖さんの案内で伯国内各地やペルーを視察予定。



9月26日 パラナ州ロンドリーナ市の大学に交換留学生として、学ぶ今野さくらさん(金ヶ崎町)と、メキシコで生まれた沖縄県人の親川ビートルケンさんが来館。藤村、多田両副会長が市街を案内し県人会で懇談した。(写真左の今野さんと親川さん)



写真 右から 千田会長、小松社長、盛岡在高橋さん、佐々木社長、小松夫人

9月15日、二戸市から「南部せんべい」本舗の小松社長、友枝夫人、県北自動車学校経営の佐々木裕子社長に盛岡市在住の高橋誠子さんが、ブラジル・モラロジー50周年式典に出席され、各地視察

を前に来館された。小松夫妻は3年ほど前にも来館されている。

持参された冊子によると小松製菓は創業者の母シキさんの思い「人を大切に・感謝の心」を忘れず「ご恩に報いる」



いわてにつぼろ  
【岩手日報】  
もりおか みかみ  
**盛岡・三上さん**  
みんよう にほんいち ぜんこくたいかい けんせい やくしん  
**民謡日本一 全国大会、県勢が躍進**



もりおか しのみり おか ちようめ みんよう かしゆみ  
盛岡市緑が丘4丁目の民謡歌手三上紀子さん(47)は、第54回郷土民謡民舞全国大会(10月24~26日、東京・日本武道館)の民謡グランプリの部で、最高賞の内閣総理大臣賞に輝いた。ジュニアやヤングなど他部門でも県人が上位を獲得し「民謡の岩手」を印象付けた。三上さんは「応援が力になった。岩手のみんな

受賞できてうれしい」と喜ぶ。大会は日本郷土民謡協会が主催。各地の予選を勝ち抜いた34人が、最終日の民謡グランプリに出場した。三上さんは「勝負はいつもこの曲」という「南部木挽唄(こびきうた)」で挑戦。同じ曲を選ぶ他県の出場者もあり「岩手代表として歌わなくては」と気持ちを入れた。三上さんは現在、県民謡協会事務局長を務めるほか、岩手もりおか支部の代表として、後進の育成にも力を注ぐ。

どうたいかい へん やまもと  
同大会では、ジュニア編で山本樹(いつき)さん(岩手もりおか支部)、ヤング編で吉田やす子さん(岩手中央支部)が1位に輝き、シニア編3部では北條真由美さん(岩手もりおか支部)が2位となった。【写真=郷土民謡民舞全国大会民謡グランプリの部で内閣総理大臣賞に輝いた三上紀子さん】(2014/11/02)

けんじんかい のりこ みんようぜんこくたいかい ないかくそうりだいじんしゅうじゅうしゅう  
「県人会」紀子さん民謡全国大会グランプリ・内閣総理大臣賞受賞おめでとうございます。県人会では早速このニュースに電話させて頂き、お父さん(三上牧蔵さん)の喜びは大で、昨年は民舞でグランプリを受賞したと話しておられました。振り返ればブラジル県人会創立35周年に、岩手郷土民謡協会の使節団として初来伯以来、40周年、45周年、50周年と「岩手民謡民舞まつり」で団員皆様と、式典を盛上げて頂いたことを思い出します。昨年の当会55周年式典には、お仕事の都合でアメリカ在の妹・ゆかりさんに駆けつけて頂いた。また、当時売出し中の歌手「福田こうへい」さんにも参加し「こうへいファン」を喜び、故父・岩月さんのブラジルへの思いを果たした上、念願の「紅白歌合戦」も初出場した。紀子さん、岩手民謡協会(藤沢清美会長)の一員として、今後ともなお芸に精進され、ますますの活躍を祈念致します。

あべしんぞうないかくそうりだいじん あきえふじんかんげいきねんしやしん  
**安倍晋三内閣総理大臣・昭恵夫人歓迎記念写真**



【概報】8月2日(土曜日)安倍晋三内閣総理大臣・昭恵夫人を迎えて在留日系人による歓迎会が、サンパウロ日本文化福祉協会の大講堂で行われた。総理の「サプライズ」として式終了後、全参加者との記念撮影会

が行われた。撮影は1回に20名ほどで参加者数から計算すると数十回行われたようである。(写真上)中央の総理夫妻を囲んだ皆さん。千田会長は総理夫人の右隣に納まった。

う にほん こころ  
**受けつがれる日本の心**  
ごみ拾い ブラジルのサポーター

サッカーワールドカップがブラジルで開催されたことは間もないが、日本のサポーターたちが試合終了後、会場の「ゴミ」拾いをした行為がテレビや新聞で報道され大きな反響を呼び、ブラジル人も見習い始めた。先日あるテレビ番組を見ていたら、国内の各試合場で「ゴミ拾い」が段々と広まりつつある事が報道されていた。

## 三枝守・たか子夫妻お別れ会

11月26日、三枝たか子さん（自閉症専門家）で8ヶ月間の任務（PIPA・青空教室）を終え帰国を前に、夫守さんと共に県人会

志でお別れ会をおこなった。三枝さんはブラジルでの



指導は4回目、今回はブラジル初訪問の守さんも同行され、県人会活動などに参加され会員と友好を深められた。



また、当地不慣れなご夫妻のため休日を利用し、会員で観光地や近郊などを案内。特に初訪問の守さんにはブラジル事情理解の一端につながったことと思う。

守さんは帰国を前に県人会が近くにあり助かった、機会があれば是非また来たいと話していた。夫妻は想いで共に29日帰国された。

## Excursão a Cananéia

associados do Iwate Kenjinkai, realizaram no final de semana do feriado da Proclamação da República. Passeio de escuna, visita a Ilha do Cardoso e banho de mar nas praias da Ilha Comprida.



## Yoshiharu Kikuchi.

Presidente de Honra do Iwate Kenjinkai, recebeu homenagem do Ministério das Relações Exteriores do Japão.



## Sakagami Minako e seu irmão Tatsuhiko



ambos de Aomori-Ken, visitaram o Iwate Kenjinkai e deixaram de presente um aparelho de Blue Ray e 100 discos gravados.



## Curso de culinária

ministrado pelo Chef Claudio Kitamura (Sakura), realizado no dia 19 de outubro em parceria com o Instituto Paulo Kobayashi.

Confraternização de associados realizado no dia 31 de agosto



Noriko Mikami, cantora de Minyo de Iwate conquista o primeiro lugar no 54º Concurso Japonês de Minyo de 2014

## Nota de Falecimento

- ☆ Sr Keiichi Talkahashi 102 anos
- ☆ Sra Masa Chida 95 anos
- ☆ Sra Fuji Takayama 85 anos
- ☆ Sr Yukho Tkahashi 81 anos

## 『福田こうへい』 紅白に2回目出場

NHK 紅白歌合戦に、岩手の歌手「福田こうへい」さんが、今年も2回目の出場が決まりました。応援しましょう。

岩手県人会ニユース 187号 2014年11月発行

TEL/FAX (11) 3207-2383 www.iwate.org.br e-mail iwate@iwate.org.br  
Rua Thomaz Gonzaga 95-M Liberdade São Paulo Brasil CEP 01506-020



岩手県人会

Associação Cultural e Assistencial Iwate Kenjinkai do Brasil

えんぼう らいかんしゃ がつ にち やまなかしよう じ けんじんかいちょう  
遠方より来館者 11月12日 山中正二ベレン県人会長さん  
(いわて ちやうしゆっしん らいかん かいだん)  
(岩手町出身) 来館。

やまなか とうきやうのうだいそつご とうざんのうじやう こいわ  
山中さんは東京農大卒後1960年カンピーナスの東山農場(小岩  
い のうじやう どうけいれつ けんしゆうせい らいはく けんしゆうご しゆう  
井農場と同系列)の研修生として来伯。研修後パラ州(ブラジル  
とうほくぶ いじゆうち ぞうせい ねんかんたずさ  
東北部)のトメアス一移住地造成に20年間携わった。

ねんやまなかしようじ せつりつ か まさいばい ぞうえん じぎやう ちいま  
1982年山中商事を設立、花卉栽培、造園事業でアマゾン地域  
せんべん けい かい らいほう とうざんのうじやうけんしゆうせい あつ さんか  
で先鞭をつける。今回の来訪は東山農場研修生の集まりに参加する



ため。[写真] 左  
しやしん ひだり  
から山中会長、干  
やまなか かいちやう ち  
田、藤村、伊藤  
だ ふじむら いとう  
(むかし きんこうしゆつ  
昔ベレン近郊出  
しん やまなか  
身で、山中さんと  
なつ はなし はな  
懐かしい話に花が  
さ かの かくし  
咲く) 平野の各氏

わたなべただし  
渡邊忠氏  
こうえきざいだん  
公益財団

ほうじん  
法人オ  
スカ副理  
じちやう  
事長が11  
がつ にちらい  
月11日来  
かん  
館。



氏はブラ

のうぎやうこうけいしやくせい ぎじゆつ しよくりん  
ジル、ウルグアイ、パラグアイと農業後継者育成、EM技術、植林プ  
ロジェクトを手がける。

ねん かいさい  
2012年6月開催された[リオ+20]のリオで再会以来の来訪。  
さんじよかいじん いとうのりお とうほくはく ざいじゆう こんい  
賛助会員の伊藤範夫さん(東北伯のナタール在住)とは懇意で、  
ほんしん はず  
話が弾んだ。

[写真] 右から伊藤、伊東、渡邊、三枝夫妻、平野の各氏。